



# たいぎ 議会だより

No.199

2025  
令和7年  
1月発行

10月16日、大樹高校3年生25名による  
高校生議会が開催されました。生徒自らが  
議員となって、高校生ならではの目線で町  
長・教育長に対して一般質問を行いました。

発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

## 第4回定例会

一般会計予算4,436万9,000円を追加補正…P2～3

## 一般質問

6名の議員が8項目を問う……………P4～7

大樹町のマイナンバーカード活用について「今後の子育て体制と子育て支援について」など

# 例の改正により、への支援を拡充

条例の一部改正や  
補正予算など  
17件を審議！！

## 公の施設の指定管理者の指定

大樹町多目的航空公園の管理運営は、公募・審査・選定を経て次のとおりに決定しました。

【指定管理者】 SPACE COTAN株式会社

【指定期間】 令和7年4月1日から令和9年3月31日まで（2年間）



## 条例の一部改正

### 大樹町奨学金等貸付条例の一部改正

経済的理由により修学が困難な学生・生徒に修学上必要な資金の貸付を行う制度。貸与額の増額、返還年数の延長、免除規定の追加を行うもの。令和7年度貸付決定分から適用とする。

#### 改正内容

- ①貸与額⇒1か月最大3万円から5万円に増額。
- ②返還年数⇒最大10年から12年に延長。
- ③免除規定⇒新たに追加。  
最終の学校を卒業または退学後に大樹町に居住すると、1か月最大2万5千円免除。（貸与額の2分の1が上限）

※大樹町から転出した場合は、免除を取消し、免除額を除いた残額を順次返還。

#### 問 菅 敏範 議員

この規定では、今後3年間の卒業生は免除規定が適用されない。人材確保が目的ならば、7年度の卒業生から適用させるべきでは。

#### 答 沼田教育長

新制度で貸付を行った方から適用するのが平等だろうということで、現在利用されている方についてはご理解をいただく結論になった。

## 意見書の提出

経済常任委員会で審議された意見書は定例会最終日に全会一致で採択し、後日、関係大臣に意見書を提出しました。

### 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進はもとより、継続的・安定的に取り組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を令和6年度内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保することを要望する。

#### 「意見書」とは…

地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。国や北海道などの関係機関に意見書を提出して問題を解決するよう要望し、大樹町議会としての考えを表明することができます。

12月2日・5日

一般会計予算 **4,436万9,000円**を追加補正

### 児童手当の支給要件が緩和

#### 児童手当支給事業扶助費

児童手当の制度改正により、支給額が増えることによる増額補正。

#### 改正内容

- ①所得制限⇒制限がなくなり、どの家庭でも全額支給となる。
- ②支給期間⇒15歳年度末から18歳年度末まで延長。
- ③第3子以降の支給額⇒3万円に増額。  
※算定対象は、18歳年度末以降から22歳年度末の養育している子まで延長。
- ④支給回数⇒4か月分ごと年3回から、2か月分ごと年6回に変更。



### 焼却処理施設を修繕

#### 一部事務組合負担金事業

南十勝複合事務組合の焼却処理施設の大規模修繕による負担金について増額補正。

#### 問 播間 章浩 議員

大樹町はどれくらいの割合で修繕費を負担しているのか。

#### 答 牧田住民課長

施設は広尾町と大樹町で使用しているため、2分の1が大樹町の負担となっている。



### 国民健康保険病院 事業会計予算

**52万4,000円**を追加補正

### 人手不足の 解消に期待

#### 病院事業費用

医師・看護師の欠員補充のための求人広告活動にかかる費用を増額補正。



## 選挙管理委員会委員・補充員の選挙

令和6年12月20日の任期満了に伴い、選挙を行った結果、下記の方が選挙管理委員及び補充員に当選されました。

【選挙管理委員】阿部 哲男氏、伊藤 修一氏、大林 一博氏、佐々木寿子氏

【選挙管理委員補充員】紺野 勇吉氏、浅野 邦雄氏、廣橋 典子氏、下山 真弓氏



## 町民の声を町政に届ける

寺嶋 誠一 議員 …………… P4

◎大樹町のマイナンバーカード活用について

播間 章浩 議員 …………… P5

◎起業家等支援事業の運用と制度の見直しについて

志民 和義 議員 …………… P6

◎熊の駆除対策について  
◎非正規公務員（会計年度職員）の雇用安定について

西山 弘志 議員 …………… P5

◎高齢者を誰一人取り残さない取組について

菅 敏範 議員 …………… P6

◎スズメバチに対する安全対策の実施について  
◎今後の水道事業の運営について

船戸 健二 議員 …………… P7

◎今後の子育て体制と子育て支援について

### ◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。  
年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

#### ・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

#### ・一問一答方式

議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

#### ・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

#### ・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

### 質問

## 「書かない窓口」の導入は

### 答

住民の利便性や事務の効率化に向けて検討する



記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



寺嶋 誠一 議員

【答】（黒川町長） 内閣府が進める準天頂衛星システム「みちびき」を活用した衛星安否確認サービス（避難者情報の収集機能）の実証事業に参画しており、避難訓練で使用を予定している。マイナンバーカードの使用など、防災DX化に向けて情報収集に努める。

【質問】 非常時（災害時）にマイナンバーカードがあれば避難所の受け入れがスムーズになる事例がある。今後の避難訓練で活用しては。

【答】（黒川町長） 11月に申請受付「強化月間」として、住民窓口の夜間延長や休日の出張窓口の開設に取り組み、保有率を77.5%まで引き上げた。今後はマイナ保険証への切り替えによるメリットなどを周知していく。

【質問】 12月に国民健康保険証が廃止となったが、マイナ保険証へ移行となる対策は。

【答】（黒川町長） 「書かない窓口」や「コンビニ交付」の導入にはシステム改修が必要のため、令和7年度末までの標準準拠システムに移行するタイミングで、住民の利便性や事務の効率化に向けて検討する。

【質問】 マイナンバーカードの個人確認による、行政書類の「書かない窓口」への移行や「コンビニ交付」の検討は。

【答】（黒川町長） 国が運営する「マイナポータル」からマイナンバーカードを活用して申請できる業務は、住民票転出届と転入予約が加わり30業務となった。令和7年度末までに18の基幹業務システムを標準準拠システムに移行する。

### Q1 大樹町のマイナンバーカード活用について

【質問】 マイナンバーカードを活用して電子申請や届出ができる28業務を国の標準準拠システムに移行していたが、その後の進捗状況は。

ここが聞きたい！ 一般質問



にしやま ひろし 議員  
西山 弘志

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

# サービス付き高齢者住宅の整備は

答

各種計画に基づき検討する

### Q1 高齢者を誰一人取り残さない取組について

**質問** 食事を用意することが困難な在宅の高齢者や障がい者などへの生活支援サービスの現状は。

**答** (黒川町長) 要介護認定を受けた方に対し、町内訪問介護事業所による訪問介護の生活援助により、調理や食事の準備、買い物などの支援を提供している。

**質問** 高齢者が安心して生活ができるサービス付き高齢者住宅の整備は。

**答** (黒川町長) 平成30年に町内の事業所から提案があり、協議を進めた経過はあるが、入居率や家賃などの関係から経営は難しいとの判断で住宅整備に至っていない。引き続き、総合計画や高齢者保健福祉計画に基づき整備について検討する。

**質問** 大樹町の老老介護の現状と対策は。

**答** (黒川町長) 令和5年度の老老介護の割合は24.5%。介護を受ける方が安心して暮らせるような支援や、介護をする方の加齢による体力の低下や日々の介護による身体的、精神的な負担への支援も重要と認識。ケアマネージャーや地域包括支援センターで家庭訪問や相談支援を行っている。

**質問** 見守りや安否確認などの活動の現状は。

**答** (黒川町長) 社会福祉協議会で実施している小地域ネットワーク事業では、見守り活動やサロンなどの地域ふれあい活動のほか、地域支え合いマップを作成して町内会単位で助け合いの取組を行っている。

**質問** 特殊詐欺などの犯罪を未然に防ぐ取組は。

**答** (黒川町長) 啓発活動を通じて地域全体の防犯意識を高める地道な取組が必要で、今後も広尾警察署と連携し、町民に対して様々な情報を提供する。



はりま あきひろ 議員  
播間 章浩

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

# 起業家等支援制度について

答

新たな支援制度を検討している

### Q1 起業家等支援事業の運用と制度の見直しについて

**質問** 現在の起業家等支援事業は、令和7年3月31日をもって失効するため、制度の見直しを含め新制度の検討が急務であると考えるが。

**答** (黒川町長) 新年度に向けて新たな支援制度を検討している。

**質問** 新たに起業などをする場合に、ソフト面の経費支援も必要では。

**答** (黒川町長) これまでは、店舗等の改装費や設備・備品購入費など、ハード事業のみを補助対象としていたが、新制度では販路拡大などのソフト事業も補助対象とすることを検討している。

**質問** 企業誘致の観点から、企業が黒川町に入りやすくなるように各種要件を拡充・緩和すべきでは。

**答** (黒川町長) 企業や事業者を町内に呼び込み地域活性化につながる有効な事業と考えており、一定の要件のもと、フランチャイズ契約も補助対象として拡充することを検討している。

**質問** 現在、空き店舗に限り取得や活用について支援しているが、事業所として活用できる空き家も支援対象とすべきでは。

**答** (黒川町長) 空き家を改造して事務所や店舗にする場合など、用途によって検討したい。

**質問** 起業家等支援事業は、産業の振興、商店街の活性化、雇用の促進を図ることによって、まちの活性化、まちのためになる事業の後押しになる制度であるべきと考えるが。

**答** (黒川町長) 事業者支援という観点や、新たな総合計画に沿った制度設計になるように検討したい。

質問

# スズメバチに対する安全対策の実施を



すが としのり 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



答

エピペン注射器の携行を検討している

**【答】**（黒川町長） 坂下浄水場の更新方針、既設管路の耐震化計画も踏まえ、7年度に水道事業経営戦略を策定予定なので、その中で方向性を示したい。

**【質問】** 水道料金の見直しは、令和4年度からの実施が先送りされているが、今後の実施時期は。

**【答】**（黒川町長） 10年間で耐震化する検討をしたが、実施に至っていない。今後は、坂下浄水場の更新方法を踏まえ、道営事業も想定した実施計画の策定を進めたい。

**【質問】** 第1次重要路線31kmの改修は、道営農用水事業補助金を活用し、10年間で実施する計画ではなかったのか。

**【答】**（黒川町長） 坂下浄水場の更新は、現施設を更新する方法と十勝中部広域水道企業団から受水する方法が考えられ、今年度策定する基本計画で費用面と事業の持続性を比較検討して方針を示す。

**【質問】** 老朽化した坂下浄水場の更新と幹線管路の改修が課題では。

Q2 今後の水道事業の運営について

**【答】**（黒川町長） 町営牧場や林政の職員に毒吸引器を携行させている。エピペン注射器の携行は、現場の多い職員に携行させることを検討している。

**【質問】** 現場職員にエピペン注射器を携行させては。

**【答】**（黒川町長） 医師から「抗体の有無に関係なくアナフィラキシーショックを発症する」との見解があり、健診機関のオプション項目にないので、血液検査は考えていない。

**【質問】** 職員や町民が、個人の抗体検査結果を把握することが予防対策になるため、血液検査を実施しては。

**【質問】** 町の施設や事業現場における駆除回数は。

**【答】**（黒川町長） 町の施設に関わる職員の駆除回数は39回。私有地内の駆除は駆除業者を紹介している。

質問

# 熊の駆除対策について



したみ かずよし 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



答

効果的な駆除対策に取り組む

**【答】**（黒川町長） 会計年度任用職員の雇用期間は、1会計年度内とされており、給与は常勤職同様に、国の人事院勧告に基づき月額給与の引き上げを行っている。また、すべての職員を正職員とする考えはなく、職場や職種ごとに必要とする常勤職の数を定め、年度により業務量が流動的な業務は、引き続き会計年度任用職員を任用する。

**【質問】** 熊による人に対する被害、農畜産物の被害が近年増えていると聞くが、今後の対策として、ハンターの人材確保や箱わなの設置個数を増やす考えは。

**【答】**（黒川町長） 高度な技術と経験が求められるハンターの確保は重要と認識。猟友会大樹支部に依頼し、ベテランと新人ハンターが一緒に駆除活動を行うなど、ハンターの育成や人材確保に取り組んでいる。また、現在、箱わなは21基設置しており、管理する大樹支部の意向を確認しながら来年度に1基更新する予定。

**【質問】** AIを活用した熱センサーカメラの自動撮影と分析で情報化し、警告するシステムの導入の考えは。

**【答】**（黒川町長） 最先端の技術を活用して熊の出没情報を即座に共有し、迅速な対応につなげることは重要。有害鳥獣の被害対策として、費用対効果も含めて検討する。

**【質問】** A-1を活用した熱センサーカメラの自動撮影と分析で情報化し、警告するシステムの導入の考えは。

**【答】**（黒川町長） 最先端の技術を活用して熊の出没情報を即座に共有し、迅速な対応につなげることは重要。有害鳥獣の被害対策として、費用対効果も含めて検討する。

**【質問】** A-1を活用した熱センサーカメラの自動撮影と分析で情報化し、警告するシステムの導入の考えは。

**【答】**（黒川町長） 高度な技術と経験が求められるハンターの確保は重要と認識。猟友会大樹支部に依頼し、ベテランと新人ハンターが一緒に駆除活動を行うなど、ハンターの育成や人材確保に取り組んでいる。また、現在、箱わなは21基設置しており、管理する大樹支部の意向を確認しながら来年度に1基更新する予定。

**【質問】** 熊の駆除対策について

**【答】**（黒川町長） 高度な技術と経験が求められるハンターの確保は重要と認識。猟友会大樹支部に依頼し、ベテランと新人ハンターが一緒に駆除活動を行うなど、ハンターの育成や人材確保に取り組んでいる。また、現在、箱わなは21基設置しており、管理する大樹支部の意向を確認しながら来年度に1基更新する予定。

**【質問】** 熊の駆除対策について

**【答】**（黒川町長） 高度な技術と経験が求められるハンターの確保は重要と認識。猟友会大樹支部に依頼し、ベテランと新人ハンターが一緒に駆除活動を行うなど、ハンターの育成や人材確保に取り組んでいる。また、現在、箱わなは21基設置しており、管理する大樹支部の意向を確認しながら来年度に1基更新する予定。



ふなと けんじ 議員  
船戸 健二

記載内容は  
要約しています。  
詳細は議会で  
ご確認ください。



質問

# 子どもや保護者のために体制整備を

答

できることから取り組んでいく

Q1 今後の子育て体制と子育て支援について

**質問** 町として、保育士確保事業の拡充、処遇改善支援の考えは。

**答** (黒川町長) 保育士確保のため、保育士の新規採用時に認定こども園が規定する住宅手当の上乗せ分として月額1万円の加算手当ときめ細かい保育ができるように要特別支援児保育加算金を給付し、保育士確保につなげている。

**質問** 尾田認定こども園の閉園に伴い、待機児童が増加することが懸念されるが、保護者が困らないよう、町としてどのような支援が可能で必要か協議しているか。

**答** (水津保健福祉課長) 待機児童の関係は、毎月利用者調整会議で調整し、極力待機児童がでないように対策している。今後は、こども誰でも通園制度を導入予定のため、受け入れ態勢を作っていく。

**質問** 最近、他地域の認定こども園で子どもの命に関わる多くの事案が発生しており、見守りカメラは保育士や子どもたち、保護者にとってこれからの保育環境に必要である。事案が発生した際の原因究明、再発防止の有効性、有用性を考えても導入に関して法人と再度協議が必要と考えるが。

**答** (黒川町長) 認定こども園の建設時に、常に監視される状況は、ストレスなどの心理的影響を懸念して導入しなかったが、必要な場所には検討する余地はあると思うので法人と協議する。

**質問** 町として、安定的な保育環境を提供し、子どもや保護者のために体制整備を推進することが必要と考えるが。

**答** (黒川町長) アンケート調査やブロック別懇談会などでいただいた意見を総合し、できることから取り組んでいく。

## 高校生議会に向けて

### ● サポート授業の実施 (10/7)

10月16日に開催される高校生議会に向け、広報広聴常任委員6名が大樹高校を訪問し、サポート授業を実施しました。町長や教育長の答弁書をもとに、再質問の作り方やコツをアドバイスしました。



当日の議会では、作成した一般質問・再質問を用いた多くの意見が出され、活発な議論が行われました。

## 次の定例会は 3月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

**TEL 6-5035**

### 請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

# して — 委員会活動報告 —

調査の一環として、他自治体等の先進地を視察し、  
ために、行政視察を行っています。

※内容を要約して掲載しています。

## 経済常任委員会 | 行政視察 (10/10 ~ 13)

### 調査目的 今後の農業の振興及び観光事業の活性化に向けた調査・検討

#### ◆千葉大学植物工場 (千葉県柏市)

##### ■概要

- 千葉大学柏の葉キャンパスの敷地内に太陽光型植物工場6棟、人工光型植物工場4棟、その他関連施設が設置され、民間企業と大学が共同で、人と環境に優しいサイエンス農業の研究・実証を行っている。



##### ■主な取組

- 植物生産工程自動化…種まき、植替え、収穫などの生産工程を自動化に適したサイズや品種に選定。環境制御技術の検証を行っている。
- 人工光型植物工場…光触媒のため葉物野菜が多く、通常より使用光量が少ないため、光熱水費を軽減できる。  
現段階では2~3割程度単価は高いが、育てる養液の成分を調整し、栄養価が高く、美味しく、長持ちするものの栽培が可能。

#### ◆つくばエキスポセンター (茨城県つくば市)

##### ■概要

- 1985年に科学万博を記念する施設として建設。翌年に科学館として再オープン。  
1階…体を使った遊びを通じて光や電気など身近な科学を体験できる。  
2階…宇宙開発、深海や核融合などの極限に挑む研究について展示。  
屋外…高さ50mあるH-IIロケット実物大模型や公園を完備。



#### ◆道の駅まえばし赤城 (群馬県前橋市)

##### ■概要

- 2023年3月21日にオープン。群馬県の中央に位置し、東京から2時間程度の好立地。
- 20を超えるショップとアクティビティがあり、物産館や温泉施設、交流や体験のできる施設、遊具のある公園も完備。食と遊びが充実した1日中遊べるスポット。
- テナントが入るコンテナハウスを6基設置。出店者が利用しやすい体制となっている。



### まとめ

【千葉大学植物工場】天候に左右されず、年間を通じて安定した栽培を行え、安心安全な作物が生産できる仕組みはとても興味深かった。将来的にシステムが確立されれば各費用も軽減され、当町でも葉草などの水耕栽培農業の方法が増えるのでは。

【つくばエキスポセンター】観光や学習の場として大変有意義な施設。宇宙交流センターSORAにも体験型の遊具を導入することで利用者の増加が見込まれるのでは。今後、宇宙関連事業が進展し、観光客が増えることになれば、見学・学習の場として展示施設の拡大は検討すべき。

【道の駅まえばし赤城】第6次産業への積極的な取組や農業+観光による地域経済の活性化が実現している点など参考とすべき点も多かった。道の駅「コスモール大樹」にも集客のために特産品の開発やイートインコーナーは必要。短期的・長期的課題を検討し、地域活性化の核となる道の駅に期待したい。

# 暮らしやすい町をめざ

議会の委員会では、町政の各分野における  
町の行政サービス向上を図る

## 議会運営委員会 | 行政視察 (10/10 ~ 13)

### 調査目的 今後の議会運営等におけるICT等の活用に向けた調査・検討

#### ◆講演「デジタル化の意義と課題」

講師：デジタル庁参与 内閣官房デジタル行財政改革会議事務局政策参与 伊藤 伸 氏

##### ■概要

- ・デジタル庁では、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を目指している。
- ・マイナンバーカードは「書かない窓口」「避難所受付の活用」など幅広い分野での利活用が期待されている。

##### ■活用事例

- ①マイナンバーカードを活用した避難支援アプリの活用
  - ・災害時、避難所の入所登録は手書きでは10分間に31人の受け入れ。  
→二次元コードを読み込み受付することで、2分間に100人の受け入れが可能。
- ②DX先進自治体の活用例
  - ・マイナンバーカードに別機能を持たせ、利用する機会を増やしている。  
→町内の買い物に利用できる地域通貨の付与、カード読み取りによる小中学校の登下校確認など。



#### ◆議会基本条例・議会のICT化について (群馬県吉岡町)

##### ■概要

- ・吉岡町議会では、平成27年度に議会基本条例を制定し、議会のあり方、議会活動の原則などを条例化。現在、見直しを検討。
- ・議会のICT化は、令和5年度からタブレット、会議システムを導入し本会議等で使用。まだ不慣れのため、紙と併用して実施。広報常任委員会での議会だより作成時には、用紙の約7割を削減。



##### ■利点

- ・最新の資料をタイムラグなく受け取れる。
- ・用紙や印刷、郵送費の削減。
- ・印刷、差し替えに係る職員の労力軽減。

##### ■欠点

- ・予算、決算審査時に前年資料と見比べることが難しい。
- ・これまで通り紙を利用してしまおうとの声もあり。

##### ■その他

- ・より多くの町民に傍聴してもらえよう、議場での音声字幕表示や、傍聴席へのモニター設置を開始。

### まとめ

【デジタル化の意義と課題】 行政手続においてマイナンバーカードを活用することで、「書かない窓口」として負担を軽減できるため、早急に検討する必要がある。マイナンバーカードをもっと身近に感じてもらえるよう普段から使用する機会を増やすことが重要であり、町が積極的にPRする必要がある。

【吉岡町議会】 議会基本条例を定めることにより最上位の条例として、議会改革の動きを後退させることなく継続させられる。安易な議論と判断で条文化せず、先進的な議会の条例を参考にしながら検討すべき。

議会のICT化については、当議会で導入予定があるので、現時点での課題や問題点、利点を共有でき、大変参考になった。今後、デジタル化を進めるためには、できることから少しでも進めていくことが重要。

# — 委員会活動報告 —

## 総務常任委員会 | 行政視察 (10/30 ~ 11/1)

### 調査目的

交通弱者をつくらない効率的な交通網の整備について調査し、町の今後の交通網の整備への提言資料とする。

#### ◆岩沼市デマンド交通 (宮城県岩沼市)

##### ■概要

- ・岩沼市は、市民バス、デマンドタクシー、AI乗合バスの3つの公共交通機関により、市内全域に交通網を整備し、交通弱者を出さない取組を実施。

##### ■デマンドタクシー

- ・ワゴン車による乗合タクシー。バスとタクシーの中間的乗り物。
- ・電話予約でタクシーのように自宅まで迎えに来てもらうことができるが、乗合運行のため、お迎えや到着時間は利用者の状況で異なり、目安の時間で運行し、途中下車や寄り道ができない。

##### ■AI乗合バス

- ・昨年3月から運行開始。ルートや時刻表は存在せず、利用者の予約状況をもとにAIが最適なルートで運行。市内109か所の乗降場所より乗合で利用。
- ・予約は事前登録制で電話、もしくはLINEから。LINEでは24時間予約が可能。(現在の使用率は56%)
- ・免許返納者、返納予定者は1人1回に限り半年間無料。



##### まとめ

- ・農村、漁村部における交通手段(デマンド化や乗合タクシー等)の改善に早急に取り組むべき。
- ・免許返納者の交通確保のため、タクシー券やふれあいバス運行チケットなど、手厚い補助を検討し、誰一人取り残さない社会の実現に期待する。

### 調査目的

スロープ付き津波避難タワーを調査し、町の津波避難タワー整備への提言資料とする。

#### ◆中野5丁目津波避難タワー (宮城県仙台市)

##### ■概要

- ・高さ：屋上9.9m、避難スペース6.6m、収容可能人数：300人、延べ面積：398㎡
- ・強度を保つため地下に26.4mの杭打ち。
- ・一次避難所としての活用が目的。津波収束後は、二次避難所の小中学校へ避難を想定。

##### ■構造・設備

- ・階段の他に高齢者、身体障がい者に配慮したスロープ、手すりを設置。
- ・スロープは勾配を5.7度にして上り下りを容易に。
- ・入口が開くと警報が鳴り、利用可能であると住民に周知できる。
- ・収納付きベンチ、空間を仕切るカーテン、水洗トイレ等を設置。
- ・屋上避難スペースに太陽光発電を設置し、夜間停電時の電源を確保。

##### ■管理方法

- ・室内避難スペースの清掃、点検は業者に委託。敷地内の草刈り等は予算内で委託し、超過分は職員で実施。



##### まとめ

- ・旭浜、浜大樹で津波避難タワーの整備を進めていく中で、基本的な考え方を整理し、地域住民への丁寧な説明が必要。
- ・施設整備後の維持管理も、地域の実情に応じた避難計画を作成しながら、自助、公助、共助を地域と共有する必要がある。

今回の行政視察で得た課題を今後の議会活動に活かし、より地域課題に即した質の高い議会運営を目指します。

第4回  
臨時会

# 議案審議

10月8日開催

条例の一部改正や  
補正予算の  
2件を審議！！

## 行政報告



## 質疑と答弁



**問** 吉岡 信弘 議員  
災害対応無人航空機ドローンの詳細は。

**答** 吉田総務課長  
消防団で使用する予定で購入し、当初予算で組んでいる。  
内容はドローン1機で、夜間でも監視ができる赤外線カメラ、体温を検知できるサーモ式の感知器などを搭載する。



## 条例の一部改正

### 大樹町国民健康保険条例の一部改正

国保の資格の取得・喪失等の届出をしない、もしくは虚偽の届出をした場合と、国民健康保険税の滞納者に対して被保険者証の返還を求め、これに応じない場合は10万円以下の過料を科する規定となっているが、被保険者証の新規発行の終了により、返還に応じない場合がなくなるので罰則規定の条文を整理するもの。

**問** 志民 和義 議員  
マイナンバーカードの使用が半強制的にならないよう指導していくべきだと思うが。

**答** 黒川町長  
病院の窓口などでも段々マイナンバーカードへ切り替わっていくということで、奨励していることは問題ないと思っている。強制的にならないよう、病院と連携を取りたい。

## 一般会計予算 672万5,000円 を追加補正

### 衆議院議員総選挙等の経費を計上



#### 衆議院議員総選挙及び 最高裁判所裁判官国民審査経費

10月27日投開票の衆議院議員総選挙及び、最高裁判所裁判官国民審査に係る経費を増額補正。

**問** 安田 清之 議員  
他町村のように、移動投票ができるような体制づくりは。

**答** 黒川町長  
今回の選挙から導入する。本人もしくは家族から予約をいただき、内容が合致した場合に自宅まで出向き投票をしてもらう。

# 一目でわかる 審議結果



## 第4回臨時会

大樹町国民健康保険条例の一部改正 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴う改正。	原案 可決	令和6年度一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ672万5千円追加。	原案 可決
--	----------	--	----------

## 第4回定例会

大樹町選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙 令和6年12月20日をもって任期満了となる大樹町選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙。	選挙	大樹町職員の給与に関する条例の一部改正	原案 可決
大樹町課設置条例の一部改正 現行の組織機構を改めることによる条例の一部改正。	原案 可決	大樹町長等の給与等に関する条例の一部改正 大樹町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正 国家公務員の給与法の一部改正に伴う改正。	
大樹町奨学金等貸付条例の一部改正 貸与額の引き上げや免除規定の追加による条例の一部改正。	原案 可決	令和6年度大樹町一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ1,541万2千円を追加。	原案 可決
大樹町公の施設の指定管理者の指定 大樹町多目的航空公園の管理を行う指定管理者を指定。	原案 可決	令和6年度大樹町介護保険特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ360万2千円を追加。	原案 可決
令和6年度大樹町一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ2,895万7千円を追加。	原案 可決	令和6年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ589万3千円を追加。	原案 可決
令和6年度大樹町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ3,730万9千円を追加。	原案 可決	令和6年度大樹町水道事業会計補正予算(第2号) 収益的支出386万円を減額。 資本的支出13万9千円を追加。	原案 可決
令和6年度大樹町水道事業会計補正予算(第1号) 収益的支出64万3千円を追加。	原案 可決	令和6年度大樹町下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的支出12万9千円を追加。 資本的支出17万4千円を追加。	原案 可決
令和6年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号) 収益的収入・支出それぞれ52万4千円を追加。 資本的収入・支出それぞれ25万1千円を減額。	原案 可決	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」をより一層推進するため、必要な予算を安定的かつ継続的に確保するための措置を講ずるよう要望する意見書を関係大臣に提出。	採択

## YouTubeで議会中継をご覧いただけます!

本会議や予算・決算審査特別委員会はライブ中継しています。  
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。  
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会を傍聴  
できますので、ぜひご利用ください。  
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や  
録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。

大樹町議会  
チャンネル



## 広報広聴常任委員会



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
船戸	菅	西山	吉岡	寺嶋	誠一
健二	敏範	弘志	信弘		
章浩	健二				

## 編集後記

令和7年3月末をもって、尾田認定こども園が閉園し町立最後のこども園がなくなり、新体制での保育環境になります。これまで通っていた園児のみならず、4月から認定こども園といきで新しい友達や先生、そして新しい園舎など、楽しい出会いが待っています。新しい環境に早く慣れてみんな仲良く笑顔で保育園生活を送ってくださることを願います。

副委員長 船戸 健二